



FIBER

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

繊維学会誌

||| 繊維と工業 ||| Reviews and News

||| 報 文 ||| Original Articles



2014 Vol.70 **2**

Thermal Analysis

EXSTAR 7000 SERIES

日立ハイテック
HITACHI

エスアイアイ・ナノテクノロジーは、日立ハイテックサイエンスに社名変更し日立ハイテクノロジーズと共にお客様のニーズにお応え致します。



示差熱重量同時測定装置
TG/DTA7000 SERIES



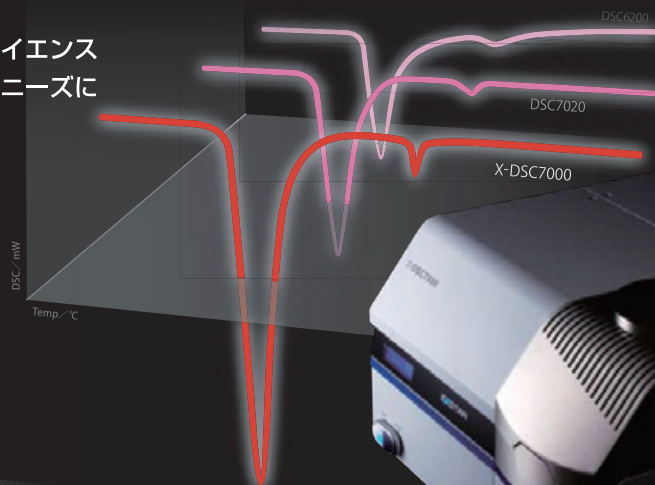
高感度型示差走査熱量計
DSC7020



熱機械分析装置
TMA/SS7000 SERIES



粘弾性測定装置
DMS7100



EXSTAR 高感度型示差走査熱量計 X-DSC 7000

求められる DSC を日立ハイテックサイエンスが形にしました。
進化を遂げた X-DSC7000 !
高感度で優れたベースライン再現性、温度追従性も向上

Make Visible



Real View TA

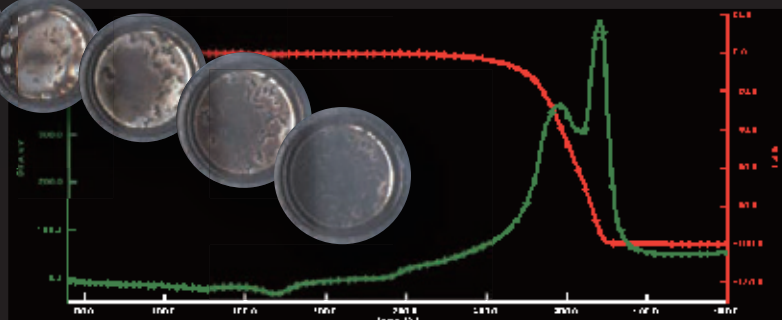
リアルビュー TAシステムは、測定中の試料の状態変化を CCDカメラにより連続した画像で表示、保存します。また測定後は、解析ソフトウェアを使用して保存画像を温度および各信号とリンクして表示、解析することができます。熱転移などの評価に対して、より信頼の高い情報が得られます。



リアルビュー DSC測定



リアルビュー TG/DTA測定



株式会社日立ハイテックサイエンス

本社営業部門 〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目24番14号
大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原三丁目3番31号 上村ニッセイビル
名古屋営業所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦二丁目13番19号 瀧定ビル
サイエンスソリューションラボ東京
〒104-0041 東京都中央区新富二丁目15番5号 RBM築地ビル

TEL: (03) 6280-0062
TEL: (050) 3131-6973
TEL: (052) 219-1678
TEL: (03) 6280-0068

<http://www.hitachi-hitec-science.com/>

日本化学繊維協会 Web サイトのご案内

日本化学繊維協会では“化学繊維”に関する情報発信の一環としてWebサイトを開設しています。
“化学繊維”の基礎知識、高機能化学繊維を含めた各種化学繊維素材などを紹介しています。

日本化学繊維協会
Japan Chemical Fibers Association

会員専用ページ English Google カスタム 検索

ニュース 統計資料 よくわかる化学せんい 未来をつくる化学せんい 日本化学繊維協会について

JCFA 日本化学繊維協会

化学繊維の未来を見つめて..

日本化学繊維協会は、
日本化学せんい工業の健全な発展をはかるためにつくられた
化学せんいの製造メーカーと紡績業者の団体です。
日本の化学せんいの将来をみつめて
その発展のためにあらゆる角度から総合的な活動をしています。

SKIP

プレスリリース press release 一覧へ▶

2014.01.15 第669回 本委員会の主要議題と概要 (294KB)
2014.01.15 内外の化学繊維生産動向(2013年) (953KB)
2013.12.24 化学繊維生産・在庫の概況(速報) ... 2013年11月度 (146KB)
2013.12.24 内外の化学工業の動向 ... 2013年第3四半期 (344KB)
2013.12.09 先端繊維素材展示会(WEB展)が日経電子版広告賞大賞を受賞しました (257KB)

業界ニュース Industry News 一覧へ▶

2014.01.15 (綿花)中国の寡占状態続く (122KB)
2013.12.24 2013年を振り返って (236KB)
2013.12.11 (中国)民営企業500強...繊維企業は31社 (117KB)
2013.12.10 KASEN TOPICSにVol.15 スパノレース不織布を追加しました
2013.11.30 (視点)2012年の繊維機械出荷は減少へ (176KB)

会長挨拶
会員企業
化学繊維の用語集
炭素繊維協会
第27回 複合材料セミナー
2014年2月14日開催
2014年版 CD-ROM付
繊維ハンドブック
繊維ハンドブック2014の正誤情報
化学繊維技術改善研究委員会
繊維関連機関リンク
お問合せ・ご意見

ニュース | 統計資料 | よくわかる化学せんい | 未来をつくる化学せんい | 日本化学繊維協会について
お問い合わせ サイトマップ ご利用条件・プライバシーポリシー Copyright (c) Japan Chemical Fibers Association

「繊維ハンドブック」(統計資料集)もWebからご注文いただけます。

■日本と世界の繊維原料からテキスタイル、アパレル、消費まで、特に発展する東アジアのデータを充実
■全繊維、全加工段階を網羅・収録

繊維ハンドブック
2014年版

<http://www.jcfa.gr.jp/>

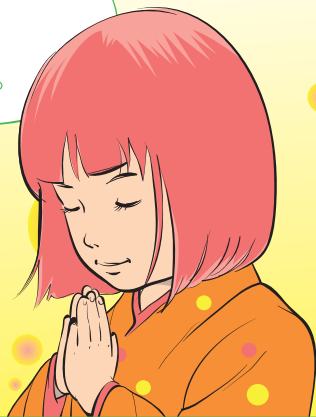
グリーンであること。クリーンであること。

素晴らしい素材や技術であっても、環境や人体に悪影響を及ぼすものであってはならない。高機能はあたりまえ。

しかも環境にやさしいこと。人体にやさしいこと。東洋紡は長年にわたってこの難しいテーマに挑戦し続けてきました。

そうやって生れたグリーンサステナブルな素材。今さまざまな舞台上で活躍はじめています。

地球が長生き
できますように。



太陽電池バックシート用PETフィルム

東洋紡のシャインビーム®

世界で初めて重金属フリーの触媒を使って開発されたバックシート用フィルム。
高い発電効果を長時間維持することに成功しました。

微生物が
生み出す保湿だ！



高保湿性化粧品原料

東洋紡のサーフェロウ®/アミノピジェール®

微生物の発酵過程で生まれる天然の保湿剤。油系と水系の高機能性保湿成分を効率的
に生産する技術を確認し、さまざまなスキンケア化粧品に使われています。

もっと熱くなっても
いいんだぜ！

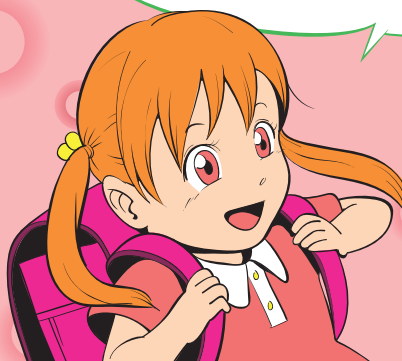


バイオベース高融点ポリアミド

東洋紡のバイロアミド®

非石油由来のバイオマス原料による高融点ポリアミド。熱による寸法変化が少ないので、
自動車のエンジンルームに使われ、車体を軽くするのに役立っています。

コラーゲンが増えるの。



アンチエイジング化粧品原料

東洋紡のファイトポリアミン®

小麦胚芽に、細胞を活性化させるポリアミンが高濃度で含まれることに着目。
ポリアミンを高濃度で含有するスキンケア原料の生産技術を確認しました。

東洋紡のグリーンサステナブル素材

www.toyobo.co.jp

TOYOBO

繊維学会誌

平成 26 年 2 月 第 70 巻 第 2 号 通巻 第 815 号

目 次

繊維と工業 (Reviews and News)

- 【時 評】産官学の反応場、先端繊維素材研究委員会へのお誘い 村瀬 浩貴 ... P-45
- 【解 説】染色加工におけるオゾン・マイクロバブルの活用 榎本 一郎 ... P-46
- 染色布の窒素酸化物による変退色堅ろう度評価 芳住 邦雄 ... P-49
- 【レポート】第 52 回ドルンビルン国際化合繊会議の報告 塩谷 隆 ... P-54
- The 12th Asian Textile Conference (ATC-12) 参加報告 木村 邦生 ... P-63
- 【新春特別紀行】シルクを求めてイギリスを歩く(その 2) 三浦 幹彦 ... P-65
- 【繊維学会創立 70 周年記念連載】〈技術が支えた日本の繊維産業－生産・販売・商品開発の歩み－ 6〉
- レーヨン工業の復興・発展 松下 義弘 ... P-69
- 【議 事 録】(一般社団法人)繊維学会第 652 回理事会議事録(抜粋) P-77

報 文 (Original Articles)

- 【一般報文】Separation of Ethanol-Water Mixtures by the Membranes Prepared from Liquid Silk
..... Yutaka Kawahara and Akira Ito ... 23
- Assessment on the Effects of Liposome-encapsulated Thioglycolic Acid on Hair Perming
..... Hanchieh Wang, Chonyu Chen, and ChiFang Wu ... 28
- 【技術報文】液流染色機を用いたバット染料による綿ニット染色法の開発
..... 若生 寛志・中根 幸治・小形 信男・清水 徹・石丸 治 ... 33

Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 70, No. 2 (February 2014)

Contents

[Reviews and News]

〈Foreword〉

Science Meets Industry : Why Don't You Join AFMc? Hiroki MURASE ... P-45

〈Review〉

Use of Ozone Micro-Bubbles in Dyeing and Finishing Ichiro ENOMOTO ... P-46

Evaluation of Gas Fading of Dyed Clothes due to Oxides of Nitrogen Kunio YOSHIKUNI ... P-49

〈Report〉

52th Dornbirn Man-Made Fibers Congress, Austria Takashi SHIOTANI ... P-54

Report on The 12th Asian Textile Conference (ATC-12) with FAPTA Meeting .. Kunio KIMURA ... P-63

〈New Year Special Travel Report〉

Silk Walking in England (2 of 3) Mikihiro MIURA ... P-65

〈Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

– History of the Production, Sales, and Product Development–6〉

Recovery and Growth of Rayon Industry Yoshihiro MATSUSHITA ... P-69

〈Minutes〉

Summary of 652nd Sen'i Gakkai Board of Directors P-77

[Original Articles]

〈Transactions〉

Separation of Ethanol-Water Mixtures by the Membranes Prepared from Liquid Silk

..... Yutaka KAWAHARA and Akira ITO ... 23

Assessment on the Effects of Liposome-encapsulated Thioglycolic Acid on Hair Perming

..... Hanchieh WANG, Chonyu CHEN, and ChiFang WU ... 28

〈Technical Paper〉

Development of Vat Dyeing Process for Cotton Knit with Jet Dyeing Machine

..... Hiroshi WAKOH, Koji NAKANE, Nobuo OGATA,

Toru SHIMIZU, and Osamu ISHIMARU ... 33

Sen'i Gakkaishi

(Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan)

Vol.70 No.2

February 2014

CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

【Transactions】

Separation of Ethanol-Water Mixtures by the Membranes Prepared from Liquid Silk

..... Yutaka Kawahara and Akira Ito ... 23

Assessment on the Effects of Liposome-encapsulated Thioglycolic Acid on Hair Perming

..... Hanchieh Wang, Chonyu Chen, and ChiFang Wu ... 28

【Technical Paper】

Development of Vat Dyeing Process for Cotton Knit with Jet Dyeing Machine

..... Hiroshi Wakoh, Koji Nakane, Nobuo Ogata, Toru Shimizu, and Osamu Ishimaru ... 33

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

投稿時の体裁変更のお知らせ

これまで、投稿していただく際にカメラレディー形式に整えていただくことをお願いして参りましたが、今般印刷システムの見直しにより、カメラレディー形式での投稿は必須ではなくなりました。

テキストデータ、図表データを別々のファイルでご用意いただき、図表の差し込み位置が分かるように本文中に示していただければ、ベタ打ちで投稿いただけます。図、写真は jpeg 形式で、表はテキスト情報が抽出可能な word 等で作成してください。その際本文は A4 判に 10.5 から 12 ポイントのサイズで、改行幅は 1.5 行程度に設定してください。

また、図表のレイアウトや大きさなど著者の体裁上のご希望を予めお伝えいただけ、ページ数の見積もりも可能なため、これまで同様カメラレディー形式に整えていただいても結構です。カメラレディーひな形はホームページからダウンロードしていただけます。

投稿の際の負担を軽減することで、より迅速快適に研究成果をご発表いただけるようになりました。今後とも繊維学会誌への積極的なご投稿をお待ちしております。

報文フォーマット変更のお知らせ

平成 24 年 9 月号より、報文の紙面を下記のように一部変更させていただきました。

1. 和文、英文とも、Corresponding Author を明示するようにしました。
2. 和文の著者名表示方法を英文に合わせ、所属は 1 ページ目左下に記すようにしました。

なお、学会 HP 掲載のファイルは既に新フォーマットに準拠しています。新規の御投稿にはなるべくこれを利用し、投稿カードと共にメール(hobun-submit@fiber.or.jp)に添付してご投稿ください。また、旧フォーマットで受理された原稿の場合、投稿カードの連絡先に記された方を Corresponding Author とさせていただきます。変更を希望される場合は、proof check の際に変更してください。

「報 文」編集委員

Sen' i Gakkaishi, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	鬯 谷 要 (和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊 (東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	河 原 豊 (群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	木 村 邦 生 (岡山大学大学院) Kunio Kimura	久保野 敦 史 (静岡大学) Atsushi Kubono
	澤 渡 千 枝 (静岡大学) Chie Sawatari	鋤 柄 佐 千 子 (京都工芸繊維大学大学院) Sachiko Sukigara	高 寺 政 行 (信州大学) Masayuki Takatera
	武 野 明 義 (岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙 顯 或 (釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡 (京都大学) Masatoshi Tosaka
	久 田 研 次 (福井大学大学院) Kenji Hisada	菅 井 清 美 (新潟県立大学) Kiyomi Sugai	山 根 秀 樹 (京都工芸繊維大学大学院) Hideki Yamane
	吉 水 広 明 (名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu	和 田 昌 久 (東京大学大学院) Masahisa Wada	

The Society of Fiber Science and Technology, Japan (2012&2013)

President T. Hirai (Shinshu University)

Vice-President T. Hori (University of Fukui)

T. Kikutani (Tokyo Institute of Technology)

H. Hoshiro (Kuraray Co., Ltd)

Member-promoting Officer H. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)

Editor "Sen' i to Kogyo" A. Tsuchida (Gifu University)

Treasurers S. Shoda (Tohoku University)

T. Nishimatsu (Shinshu University)

K. Tashiro (Toyota Technological Institute)

K. Miyazaki (University of Fukui)

Y. Tsujii (Kyoto University)

M. Higa (Yamaguchi University)

Planning Officers T. Kanaya (Kyoto University)

Y. Maeda (Toray Industries, Inc)

M. Fukui (Asahikasei Fibers Corporation)



会 告

2014

Vol. 70, No. 2 (February 2014)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
26. 3. 7(金)	講演会「紡績工学の現在と未来に向けて」(東京都・東工大キャンパス・イノベーションセンター)	A5
3. 7(金)	信州大学 平成 25 年度博士課程教育リーディングプログラム(オンリーワン型)「ファイバールネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成」国際ミニシンポジウム(東京都・ホテルニューオータニ)	A7
3. 14(金)	熱ヒーターの繊維製品への応用に関する講演会(富山市・富山国際学園サテライト・オフィス)	A5
3. 15(土)	技術士(繊維)受験オープンセミナー(大阪市・大阪産業創造館)	A7
3. 17(月)	第 7 回日本化学連合シンポジウム 化学コミュニティのビジョンをとらえるーエネルギー戦略とコミュニケーションー(東京都・日本化学会 化学会館)	A9
3. 19(水)	第 41 回繊維加工シンポジウムー繊維加工の現況ー(東京都・昭和女子大学)	A8
3. 19(水)	京都工芸繊維大学 繊維科学センター 平成 25 年度ネオファイバーテクノロジー研究報告会(京都市・京都工芸繊維大学)	A4
4. 5(土) ～6. 14(土) 計 7 回	TES(繊維製品品質管理士)受講講習会大阪会場(大阪市・大阪産業創造館)	A7
4. 5(土) ～6. 7(土) 計 7 回	TES(繊維製品品質管理士)受講講習会名古屋会場(名古屋市・ウインクあいち)	A7
4. 11(金) ～5. 30(金) 計 6 回	TES(繊維製品品質管理士)受講講習会(福岡市・ibb 6 階)	A7
4. 11(金)	14-1 ポリマーフロンティア 21(東京都・東工大蔵前会館)	A7
4. 23(水)	文部科学省科学研究費新学術領域「元素ブロック高分子材料の創出」第 4 回公開シンポジウム(熊本市・熊本市国際交流会館)	A8
5. 17(土) ～6. 28(土) 計 6 回	TES(繊維製品品質管理士)受講講習会東京会場(東京都・機械振興会館)	A7
5. 21(水) ～10. 1(水) 全 6 回	第 19 講 研究開発リーダー実務講座 2014(大阪市・大阪科学技術センター)	A8
6. 28(土)	第 51 回化学関連支部合同九州大会研究発表募集(北九州市・北九州国際会議場)	A6
8. 10(日) ～12(火)	第 33 回日本糖質学会年会(名古屋市・名古屋大学豊田講堂)	A8
9. 28(日) ～10. 1(水)	繊維学会創立 70 周年記念事業 International Symposium on Fiber Science and Technology 2014 (ISF2014) 繊維の科学と技術に関する国際シンポジウム 2014(東京都・ビッグサイト東京ファッションタウン(TFT)ホール)	A3
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年 6 月号
	繊維学会定款(平成24年 4 月 1 日改訂)	平成24年 3 月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	訂正・変更届用紙	平成24年12月号
	繊維学会入会申込書(維持・賛助会員用)	平成25年11月号
	繊維学会入会申込書(正・学生会員用)	平成26年 1 月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年 1 月 1 日改訂)	平成26年 1 月号

「繊維と工業」編集委員

編集委員長	土田 亮(岐阜大学)					
編集副委員長	髭谷 要(和洋女子大学大学院)	出口 潤子(旭化成せんい(株))				
編集委員	植野 彰文(KBセーレン(株))	大島 直久(東海染工(株))	金 翼水(信州大学)	澤田 和也(大阪成蹊短期大学)		
	高瀬 栄一(三菱レイヨン(株))	高崎 緑(宮城教育大)	寺本 喜彦(東洋紡(株))	中西 輝薫(ユニカトレーディング(株))		
	西田 幸次(京都大学化学研究所)	増田 正人(東レ(株))	村上 泰(信州大学)	八重田 徹(王子ホールディングス(株))		
	山田 秀夫(帝人(株))					
顧問	浅井 恒雄(科学技術ジャーナリスト)	浦川 宏(京都工芸繊維大学大学院)				

平成26年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成26年度年次大会	平成26年 6 月11日(水)～13日(金)	タワーホール船堀(東京)
創立 70 周年記念事業 (式典・国際シンポジウム)	平成26年 9 月28日(日)～10月 1 日(水)	ビッグサイト東京ファッションタウン TFT ホール(東京・有明)

創立70周年記念事業募金状況の中間報告

(平成 25 年 12 月 31 日現在の寄付金)

寄 付 数	口 数	金 額
個 人	196 名	995 口
企業・団体	38 団体	111 口
	234 件	
		10,533,000 円

(目標金額 15,000,000 円)

第二次の寄付金募集を行いますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

創立 70 周年記念事業趣旨

繊維関連の科学技術は、宇宙航空産業から自動車などの移動体、情報通信、医療・介護、防災・環境、エネルギー技術に至る極めて広い範囲に展開し、新たな産業分野を形成しながら持続的な成長を続けており、多分野が一層密に連携した迅速な取り組みを必要としています。

このような認識のもと、繊維学会では、創立 70 周年を期に、これまでの学会活動を一層発展させるべく、

- (1) わが国の産学官の総力を結集した総合的な繊維関連産業・文化政策への貢献
- (2) 海外との連携強化と積極的な情報発信・研究ネットワークの構築、これらを活用した人材育成の強化
- (3) 斬新な繊維関連科学技術の提案と挑戦、先端領域の創発
- (4) 領域横断型の先導的な繊維産業分野の展開に資する取り組みを推進します。

わが国の繊維産業の新たな活力のための起点となることを念願して、創立 70 周年記念事業を開催します。

繊維学会創立 70 周年記念事業の日程と内容

日 程	式典・記念講演	新繊維技術展示会(無 料)	ISF2014国際シンポジウム(有 料) ファッションショー(無 料) 新繊維素材シンポジウム(無 料)	アトラクション
9/28(日)	70周年記念式典 記念講演 3 件 (ホール 500)	17 時から内覧会 共催：日本化学繊維協会 (ホール 300&ホワイエ)		18 時 30 分から 祝賀会：有明ワシントンホテル、 ウエルカムパーティー
9/29(月)		技術展示会(ホール 300&ホワイエ) 技術交流、B-to-B 交流、 技術説明会	ISF2014 国際シンポジウム 基調講演 4 件 (ホール 1000)	
9/30(火)		技術展示会(ホール 300&ホワイエ) 技術交流、B-to-B 交流、 技術説明会	ISF2014 国際シンポジウム 基調講演 2 件(ホール 1000) 16 時よりファッションショー 共催：文化学園大学(ホール 1000)	18 時 30 分から パンケット：有明 TOC
10/1(水)		技術展示会 (ホール 300&ホワイエ) 15 時まで開催	新繊維素材シンポジウム 基調講演 2 件 主催：日本化学繊維協会 (ホール 1000、同時通訳付き)	15 時から B-to-B 懇談会(名刺交換会)

本年度総会にて、正会員の年会費を平成 26 年 4 月 1 日から改定することが決議されました。

平成 26 年 4 月からの年会費(学会誌の配本を含みます)：

個人会員

正 会 員

9,600 円

(消費税は非課税扱い)

繊維学会創立 70 周年記念事業
International Symposium on Fiber Science and Technology 2014 (ISF2014)
繊維の科学と技術に関する国際シンポジウム 2014

開催案内と発表募集

一般社団法人繊維学会では、その創立 70 周年記念事業の一環として、国際会議を開催します。本会議は、繊維の科学と技術に関わる研究者・専門家を世界中から幅広く集めて開催されます。繊維の科学と技術に関する研究は急速に発展しております。繊維やテキスタイルの基礎研究のみならず、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、インフォメーションテクノロジーを始めとする境界領域の研究も繊維科学・技術分野と深い関わりを持っています。この ISF2014 を開催する目的は、当該分野に係る世界中の人々が集い、最新の研究成果を発表し、情報の交換を行う場を提供することにあります。

日本のなかで繊維産業の規模は縮小傾向にあるとはいえ、当該分野の日本の高い技術力、研究開発能力は世界が認めるところであり、本国際会議が世界から大きな注目を集めることに疑問の余地はありません。現在の日本の立ち位置を確認し、将来のさらなる発展に向けた方向性を見出すためにも、また、世界に向けて日本の実力を発信するためにも、ISF2014 の開催は極めて意義深いものと考えられます。

開催地として東京都有明にあるビッグサイト東京ファッションタウンホールを選びました。日本の中心東京で発展を続ける臨海都市での開催も、特に海外からの参加者にとって魅力あるものに違いありません。皆様の積極的な発表申込をお願い致します。

主 催：繊維学会
共 催：日本化学繊維協会
協 賛：日本繊維機械学会、日本繊維製品消費科学会
日 時：平成 26 年 9 月 28 日(日)～10 月 1 日(水)
場 所：ビッグサイト東京ファッションタウン(TFT)ホール
〒135-8071 東京都江東区有明 3-6-11
内 容：基調講演、招待講演、口頭発表およびポスター発表

一般セッション

G1 Fibers and Polymer Materials
G2 Fiber and Textile Processing
G3 Dyeing, Finishing, Coating and Laminating
G4 Textile Science and Engineering
G5 Fashion and Clothing Science

特別セッション

S1 Advanced Fiber Symposium
S2 Symposium on Dyeing and Finishing of Textiles
S3 Flow & Deformation Induced Polymer Crystallization
S4 Smart Textiles / Nanofibers
S5 Bio-Based and Biomedical Materials
S6 Composites and Industrial Textiles

※詳細については公式ホームページ <http://www.procomu.jp/isf2014> をご覧ください。

重要な締切日：

平成 26 年 2 月 14 日 発表申込・Abstract 提出締切
平成 26 年 4 月 14 日 発表申込受理通知発送
平成 26 年 7 月 14 日 事前参加登録締切
Extended Abstract 提出締切

使用言語：英語

発表申込および Abstract 提出：下記公式ホームページ上から発表申込・提出することができます。

<http://www.procomu.jp/isf2014>

発表申込方法など詳細情報は、ホームページ上に掲載されております。

問合せ先：ご不明の点は、ISF2014 事務局へお問い合わせください。

ISF2014 事務局

E-mail: isf2014@fiber.or.jp

担当：松本 英俊 (ISF2014 Secretary General、東京工業大学)

山本 恵美 (繊維学会事務局)

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

一般社団法人 繊維学会内

京都工芸繊維大学 繊維科学センター
平成 25 年度ネオファイバーテクノロジー
研究報告会

京都工芸繊維大学繊維科学センターでは、下記の要領で表記の報告会を開催いたします。
本報告会では、繊維科学センターの 1 年間の研究成果および活動内容を報告いたします。
多数の皆様のご参加をお待ちいたしております。なお、ポスターセッションも行います。
発表をご希望の方は、下記連絡先までお申し込みをお願いいたします。

日 時：平成 26 年 3 月 19 日(水) 10:00～17:10

場 所：京都工芸繊維大学 西部構内 総合研究棟 4 階 多目的室

プログラム

- | | | | |
|-------------|---|-------------------------------------|-------|
| 10:00～10:10 | 開会の挨拶 | 繊維科学センター長 | 山根 秀樹 |
| 10:10～10:35 | 遺伝子組換えカイコによる後部絹糸腺でのサイトカイン固定化多角体の産生 | インテリジェント繊維開発室長 | 森 肇 |
| 10:35～11:00 | 安定な有機塩を経由するビスオキサジンとジカルボン酸類の重付加
— 新規な概念に基づく逐次重合反応の紹介 | インテリジェント繊維開発室バイオミメティックファイバー分野 | 宮本 真敏 |
| 11:00～11:25 | バイオベースファイバー・フィルムの成形と構造解析 | インテリジェント繊維開発室バイオナノファイバー分野 | 山根 秀樹 |
| 11:25～11:50 | 3D プリンター用に向けた樹脂材料の開発 | インテリジェント繊維開発室バイオベースポリマー・ファイバープロジェクト | 増谷 一成 |
| 11:50～13:00 | 昼 食 | | |
| 13:00～13:25 | 天然繊維の染色機構に関する考察 | 繊維機能プロセス開発室長 | 浦川 宏 |
| 13:25～13:50 | 染毛料カテキノンの合成最適条件と染料生成機構 | 繊維機能プロセス開発室繊維プロセッシング分野 | 安永 秀計 |
| 13:50～14:15 | アリルアミノオリゴマーを主査とする Flip-Flop 型含フッ素表面改質剤、Part III;
第三の官能基の導入の検討 | 繊維機能プロセス開発室繊維プロセッシング分野 | 老田 達生 |
| 14:15～14:35 | 休 憩 | | |
| 14:35～15:00 | 画像フーリエ変換を利用したナノ相分離構造のグレインサイズの解析法の確立 | 繊維機能プロセス開発室繊維構造デザイン分野 | 櫻井 伸一 |
| 15:00～15:25 | 成膜過程におけるポリ(3-ヒドロキシブチレート)の結晶化挙動 | 繊維機能プロセス開発室繊維構造デザイン分野 | 佐々木 園 |
| 15:25～15:50 | 羊毛織物の審美性を際立たせる風合い・デザイン | 繊維デザイン戦略室感性・快適性制御分野 | 鋤柄佐千子 |
| 15:50～16:15 | Surface Structure and Torsion Property of Cotton-Rayon Blended Vortex Yarns | 繊維デザイン戦略室感性・快適性制御分野 | 康 健 |
| 16:15～17:00 | ポスター発表 | | |
| 17:00～17:10 | 閉会の挨拶 | 繊維機能プロセス開発室長 | 浦川 宏 |

参加費：無料

参加のお申し込み：特に必要ありません。当日自由に会場までお越しください。

連絡先：京都工芸繊維大学繊維科学センター

(TEL: 075-724-7701 FAX: 075-724-7705 E-mail: fiber@kit.ac.jp)

「熱ヒーターの繊維製品への応用に関する講演会」

主 催：富山県工業技術センター

共 催：繊維学会北陸支部・日本繊維製品消費科学会北陸支部・日本繊維機械学会北陸支部・富山県繊維技術研究協議会
富山県繊維協会

日 時：平成 26 年 3 月 14 日(金) 14:00～16:00

場 所：富山国際学園サテライト・オフィス(富山駅前 CIC ビル 3F)
(〒930-0002 富山市新富町 1 の 2 の 3 TEL:076-444-0001)

内 容：14:00～14:30 「面状発熱体の現状と応用について」

(株)マイテック 営業部長 酒井 明

技術部課長 高田 潔

14:30～15:30 「衣服における伝熱工学と健康－衣服と東洋医学とのコラボレーションの可能性－」

東北大学 流体科学研究所 教授 圓山重直

15:40～16:00 「自由討議」

定 員：50 名程度

参加費：無 料

申込方法：申込用紙に氏名・所属、会社名、連絡先をご記入の上、平成 26 年 3 月 7 日(金)までに FAX、郵便または E-mail
にてお申込みください。

申込先：〒939-1503 富山県南砺市岩武新 35-1

富山県工業技術センター 生活工学研究所 担当：野尻、和田、中橋

TEL:0763-22-2141 FAX:0763-22-4604 E-mail:nojiri@itc.pref.toyama.jp

講演会「紡績工学の現在と未来に向けて」

信州大学繊維学部 松本陽一教授をお招きして、「紡績工学の現在と未来に向けて」をテーマに下記のように開催いたします。紡績工学を研究する国内の技術者や研究者の減少傾向がみられる中、紡績工学の第一人者であります松本陽一教授より紡績工学の現状と将来への展望につきまして、わかりやすくご講演いただきます。多数の方々の受講をお待ちしております。

主 催：繊維学会関東支部

共 催：繊維学会感覚と計測研究委員会、繊維機械学会信越支部、感性工学会感覚工学部会

協 賛：信州大学繊維学部先進ファイバー試作開発センター

日 時：平成 26 年 3 月 7 日(金)14:00～16:00

場 所：東工大キャンパス・イノベーションセンター 多目的室 3
(JR 田町駅下車、芝浦側徒歩 1 分)東京都港区芝浦 3-3-6

プログラム：

14:00～16:00 「紡績工学の現在と未来に向けて」

信州大学繊維学部 松本陽一

定 員：40 名

参加費：無料

申込方法：下記宛に、氏名、所属、住所、E-mail を明記の上、下記まで E-mail にてお申し込みください。

申込先：〒386-8567 上田市常田 3-15-1

信州大学繊維学部 堀場洋輔

TEL:0268-21-5590 E-mail:horiba@shinshu-u.ac.jp

第 51 回化学関連支部合同九州大会研究発表募集

共 催：繊維学会西部支部ほか 7 化学関連支部

日 時：平成 26 年 6 月 28 日(土) 9:00～17:00

場 所：北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野 3-9-30) [交通] JR 小倉駅より徒歩 5 分

発表申込期間：3 月 10 日(月)～3 月 28 日(金)

予稿原稿締切：5 月 9 日(金)

発表形式：特別講演(1 件)、依頼講演(8 件、各支部担当)

一般講演はポスター発表のみ(外国人研究者交流ポスター発表を含む)

発表申込方法：web 上からの申込を原則とさせていただきます。本大会のホームページ(<http://www.godo-kyushu.jp>)へアクセスし、その指示に従ってください。web 登録の不可能な場合は、テキスト形式で下記の必要事項を記入の上、E-mail アドレス(godo_kyushu@ml.nagasaki-u.ac.jp)へお送りください。申込み締切り後に、受理通知のメールをお送りします。締切後、1 週間以内に通知がない場合は、お問い合わせください。

申込必要事項：1) 希望分類番号、2) 発表演題、3) 研究者所属機関(略称)、4) 研究者氏名(発表者の前に○印)、5) 連絡先の住所及び氏名(フリガナ)、6) 電話番号、7) Fax 番号、8) E-mail アドレス、9) 発表者の所属学協会(申込中を含む、複数可)、10) 発表者の学年・職及び年齢、11) 外国人研究者ポスター発表の有無

なお、希望分類番号は下記のいずれかをご指定ください。

(1) 物理化学、(2) 分析化学、(3) 無機化学、(4) 電気化学、(5) 有機化学、(6) 高分子・繊維化学、(7) 生物化学・農芸化学、(8) 化学工学

予稿原稿(約 800 字図表を含む)の執筆要項およびプログラムは、大会 HP で公開します。執筆要領に従って作成し、PDF ファイルに変換したものを本大会のホームページ(<http://www.godo-kyushu.jp>)に記載の方法で投稿してください。

なお、Web 上において電子ファイルによる投稿が不可能な場合は、印刷したものを下記宛先にご郵送ください。

予稿原稿の郵送先：〒852-8521 長崎市文教町 1-14 長崎大学大学院 工学研究科物質科学部門内 繊維学会西部支部
第 51 回化学関連支部合同九州大会実行委員会 担当小椎尾宛

参加登録費：参加費は無料。発表登録料として、ポスター発表 1 件につき 2,500 円(予稿集 1 冊含む)を当日受付にて徴収します。発表者以外の参加者には予稿集を 1,500 円で当日販売します。

懇親会：17:30(予定)国際会議場 2F レストラン「パッソ」にて

会 費：一般 4,000 円、学生 1,500 円(当日徴収)。

外国人研究者の交流ポスター発表の方へ：発表申込要領は上記に従ってください(但し、申込必要事項欄の 11)をチェックする必要あり)。英語で要旨をお書きください。また、本登録をされた外国人研究者は、該当セッションでの本発表と外国人研究者交流ポスター発表セッションでの発表の 2 回の発表が必要となります。なお、今大会では外国人研究者交流ポスター発表セッションでの優秀ポスター賞は選考致しません。

問合せ先：第 51 回化学関連支部合同九州大会実行委員会 代表世話人：小椎尾謙(事務局：E-mail: godo_kyushu@ml.nagasaki-u.ac.jp, Phone&Fax: 095-819-2653)

特別講演・依頼講演会 [順不同]

特別講演 繊維学会西部支部推薦

「溶融紡糸における結晶化促進効果を利用した繊維材料開発」

東工大院理工 鞠谷 雄士

依頼講演-1 日本農芸化学会西日本支部推薦

「ゲノム編集の新しい DNA/RNA 結合モジュール、PPR モチーフ」

九大院農 中村 崇裕

依頼講演-2 高分子学会九州支部推薦

「細胞治療のための高分子・ペプチド化学に基づく細胞表面の改変技術」

九大院工 森 健

依頼講演-3 繊維学会西部支部推薦

「生体膜機能を模倣した分離膜」

山口大院理工 比嘉 充

依頼講演-4 有機合成化学協会九州山口支部推薦

「非天然型キラル分子の化学」

九大先導研 友岡 克彦

依頼講演-5 日本化学会九州支部推薦

「金属ナノ微粒子の液相合成と応用」

九大先導研 辻 正治

依頼講演-6 化学工学会九州支部推薦

「酵素反応で重合したポリフェノールによる貴金属の回収」

佐賀大院工 川喜田英孝

依頼講演-7 電気化学会九州支部推薦「トラップ電子を利用した光機能性複合酸化物の研究」

産業技術総合研究所生産計測技術研究センター 秋山 守人

依頼講演-8 日本分析化学会九州支部推薦

「電気チップで癌を調べる：Electrochemical Telomerase Assay (ECTA) による口腔癌診断法の開発」

九工大院工 竹中 繁織

信州大学 平成 25 年度博士課程教育 リーディングプログラム(オンリーワン型) 「ファイバーLESSを先導する グローバルリーダーの養成」 国際ミニシンポジウム

日 時：平成26年 3 月 7 日(金) 13:30～19:00(13:00 受付
開始)

場 所：ホテルニューオータニ(東京)ガーデンコート宴会
場階 アリエス

言 語：英語(同時通訳なし)

プログラム：

- ・ Tacking Grand Challenges in the Textiles Complex-A
Collaborative Effort

ノースカロライナ州立大学 Prof. Harold S.Freeman

- ・ Multifunctional Fiber Based Lightweight Construction
in Multi-material Design

ドレスデン工科大学 Prof. Chokri Cherif

- ・ Functional and Smart-the Endless Search for perfect
Textiles

香港理工大学 Prof. John H.Xin

問合せ先：信州大学繊維学部「博士課程教育リーディング
プログラム」事務局 担当：森本

TEL: 0268-21-5309

E-mail: leading-fiber_j@shinshu-u.ac.jp

技術士(繊維)受験オープンセミナー

日 時：平成 26 年 3 月 15 日(土) 13:30～15:30

場 所：大阪産業創造館 5 階 研修室 A/B(大阪市中央区
本町 1-4-5)

プログラム：

- ・ 技術士について
- ・ 先輩技術士から資格取得のメリット
- ・ 社内外の活用事例、合格への勉強方法の紹介

会 費：無料

申込み：FAX で、氏名、会社名、連絡先(住所・TEL)を
日本繊維技術士センター(JTCC)

オープンセミナー事務局まで

FAX: 06-6339-0337 期限：3 月 8 日(土)

TES(繊維製品品質管理士)受講講習会

大阪会場

日 時：平成 26 年 4 月 5 日～6 月 14 日(土曜日)
9:30～17:00 計 7 回

場 所：大阪産業創造館(大阪市中央区本町 1-4-5
TEL 06-6264-9800)

東京会場

日 時：平成 26 年 5 月 17 日～6 月 28 日(土曜日)
9:30～17:00 計 6 回

オプション：平成 7 月 5 日(土)9:30～17:00

事例解析・論文の個別面談指導

場 所：機械振興会館(港区芝公園 3-5-8

TEL 03-3434-8211)

名古屋会場

日 時：平成 26 年 4 月 5 日～6 月 7 日(土曜日)

9:30～16:50 計 7 回

場 所：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)会議
室(名古屋市中村区名駅 4-4-38

TEL 052-571-6131)

福岡会場

日 時：平成 26 年 4 月 11 日～5 月 30 日(金曜日)

13:30～17:50 計 6 回

場 所：ibb 6 階(福岡市中央区天神 2-3-36

TEL 092-737-6360)

費用は全コース 52,500 円(但し、福岡会場は 42,000 円)
で、コース別の受講料も設定しています。

(東京のオプション：論文・事例解析の個別面談指導は、
模擬試験を受験した人が対象で、論文・事例解析それぞれ
2,500 円)

詳細は各会場担当支部にお問合せください。

大阪会場、福岡会場：

JTCC 本部(大阪)

TEL: 06-6339-1237 FAX: 06-6339-0337

東京会場：関東支部(東京)

TEL: 03-5643-5112 FAX: 03-5614-0103

名古屋会場：東海支部(名古屋)

TEL: 052-231-3043 FAX: 052-204-1469

詳細は JTCC ホームページをご参照ください。

ホームページ：http://homepage3.nifty.com/jtcc/

14-1 ポリマーフロンティア 21

主 催：高分子学会 行事委員会

日 時：平成 26 年 4 月 11 日(金) 10:20～17:30

場 所：東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール(東京都
目黒区大岡山 2-12-1)

プログラム：

- ・ 放射性セシウムは水に溶けない！化学的な実態と高分
子材料を利用した除去の可能性、今後の対策
福島大共生システム理工 金澤 等
- ・ シクロデキストリン材料を用いたオイル中の有害物質
の除去 阪大院工 木田 敏之
- ・ 放射線を活用した金属捕集材料の開発～環境浄化と資
源確保を目指して～ JAEA 瀬古 典明
- ・ 随伴水処理のための高性能濾過フィルター、オイル吸
着材の開発 物材機構 一ノ瀬 泉

・逆浸透膜水処理における高分子の影響

栗田工業 川勝 孝博

・リグノセルロース系バイオマスからのバイオ燃料・バイオ化学品生産プロセスの開発

神戸大院工 近藤 昭彦

申込方法：学会ホームページ <http://www.spsj.or.jp/entry/> から登録、または下記 FAX 申込書にてお申込みください。随時、参加証と請求書を送付いたします。

9月3日 第5回 事業と組織のマネジメント

10月1日 第6回 組織の変革・活性化

問合せ先：〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階

一般社団法人 近畿化学協会

TEL：06-6441-5531 E-mail：mail@kinka.or.jp

詳細はホームページをご覧ください。

第 33 回日本糖質学会年会予告

主 催：日本糖質学会

日 時：平成 26 年 8 月 10 日(日)～12 日(火)

場 所：名古屋大学豊田講堂(名古屋市千種区不老町)

討論主題：糖質、複合糖質に関する基礎研究や応用研究

内 容：公募型ワークショップ(8 件程度)

日本糖質学会奨励賞受賞講演(2 題)

一般講演とポスター発表

問合せ先：〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科

第 33 回日本糖質学会年会

世話人代表 古川 鋼一

TEL：052-744-2070

E-mail：koichi@med.nagoya-u.ac.jp

なお、詳細は、平成 26 年 2 月頃に学会ホームページ(<http://www.jscr.gr.jp/>)と年会専用ホームページ(現在作成中)に掲載します。

第 41 回繊維加工シンポジウム — 繊維加工の現況 —

主 催：繊維学会 繊維加工研究委員会

共 催：日本家政学会関東支部、日本繊維製品消費科学会

日 時：平成 26 年 3 月 19 日(水) 10:30～16:00

場 所：昭和女子大学 大学 1 号館 6S08 教室

(東京都世田谷区太子堂 1-7、東急田園都市線
三軒茶屋駅から徒歩 8 分)

1. 羊毛の防縮加工

大阪府立大学名誉教授 高岸 徹
生体由来物質である酵素には合成化学物質と異なる多くの特徴があり、エコロジーの観点から関心がもたれている。酵素の繊維染色加工における利用について概説し、その問題点にも触れ、今後の展望について考えたい。

2. わが社の防汚加工商品開発事例

— 快適防汚素材 ダストップ SP について —

帝人フロンティア(株) 横山 智
帝人フロンティアで開発した防汚加工商品について試験データを交えながら開発の経緯などについてご紹介。

文部科学省科学研究費新学術領域 「元素ブロック高分子材料の創出」 第 4 回公開シンポジウム

主 催：「元素ブロック高分子材料の創出」総括班

日 時：平成 26 年 4 月 23 日(水) 12:55～18:00(12:00 受付開始)

場 所：熊本市国際交流会館(熊本市中央区花畑町 4-18)

プログラム：

・金属酵素クラスター活性中心の化学：生物機能に挑戦する科学研究への期待

特別講演 名古屋大学 巽 和行

・金属および半導体系元素ブロックによる光・電子材料
研究発表 I A01 班 渡辺 明

・シロキサン系元素ブロック材料の創製

研究発表 II A02 班 郡司天博

・高分子界面特性への元素ブロックの効果

研究発表 III A03 班 田中敬二

・元素ブロック共役高分子の不斉高次構造制御

研究発表 IV A04 班 三田文雄

・ラジカル高分子の創製と電荷郵送および蓄電素子

特別講演 早稲田大学 西出宏之

詳細は、HP(<http://www.omtri.or.jp> または <http://element-block.org/>)をご覧ください。

第 19 講 研究開発リーダー実務講座 2014

主 催：近畿化学協会

日 時：平成 26 年 5 月 21 日(水)、6 月 4 日(水)、7 月 2 日(水)、
8 月 6 日(水)、9 月 3 日(水)、10 月 1 日(水)の全 6 回、
何れも 13:30～17:45

場 所：大阪科学技術センター 7 階 700 号室(大阪市西区靱本町 1-8-4)

プログラム：

5 月 21 日 第 1 回 研究開発リーダーのあり方

6 月 4 日 第 2 回 新技術への果てしなき挑戦

7 月 2 日 第 3 回 事業創造～戦略と知財～

8 月 6 日 第 4 回 人材育成

特に、ダストトップ SP は従来のポリエステル素材では難しかった吸水性と撥油性の相反する機能を併せ持った新しい防汚素材である。

3. 繊維用機能加工 - 防汚加工の種類とメカニズム

日華化学(株) 吉野 豪
各種防汚加工の概要、加工剤の種類、汚れ付着防止・汚れ脱落のメカニズム、及び日華化学の防汚加工剤の開発状況について、繊維に加工した各種試験データを交えながらご紹介します。

4. 繊維製品の防汚加工マーク制度について

(一社)繊維評価技術協議会 越智 清一
防汚性繊維製品の市場動向、基本付与技術、各種防汚性試験方法の概要を紹介した上で、織技協の機能性繊維製品の最新マーク制度として防汚加工マーク制度の開発経緯と認証基準について解説する。

会 費：繊維加工研究委員会委員：無料、繊維学会会員・共催学会員：1,000 円、主催・共催学会員以外：2,000 円、学生 500 円

申し込み：下記宛に氏名、所属、電話番号、FAX 番号を記載の上、3 月 15 日(土)までに、葉書、FAX、または E-mail でお申し込みください。

申し込み先：〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1
日本女子大学家政学部被服学科 増子富美
FAX: 03-5981-3481
E-mail: fumimasuko@fc.jwu.ac.jp

第 7 回日本化学連合シンポジウム 化学コミュニティのビジョンをとらえる — エネルギー戦略とコミュニケーション —

主 催：(一社)日本化学連合

日 時：平成 26 年 3 月 17 日(月) 13:00~19:00

場 所：日本化学会 化学会館 7 階ホール
(東京都千代田区神田駿河台 1-5)

プログラム：

第 1 部(13:00~14:40)

エネルギー安全保障戦略

日本エネルギー経済研究所 田中 伸男
シェール革命とは何か

石油天然ガス・金属鉱物資源機構 伊原 賢
シェールガスをはじめとする非在来型化石資源と今後のエネルギー・化学

早稲田大学 関根 泰

第 2 部(14:55~17:00)

化学物質のリスクコミュニケーション

淑徳大学 北野 大
センスよくわかりやすい！研究者のためのビジュアルデザイン
筑波大学 田中佐代子

表彰式「化学コミュニケーション賞 2013」

第 3 部 交流会(17:15~19:00)

参加費：無料(ただし、事前の参加登録が必要)

問合せ先：(一社)日本化学連合 事務局

第 7 回日本化学連合シンポジウム係

TEL: 03-3292-6010 E-mail: ohashi@jucst.org

「繊維と工業」編集委員会からのお願い

編集委員会では、記事の最後に余白が生じた場合に、埋め草的に使用出来るコラム記事、イラスト、写真等を募集しております。

原則的にモノクロで掲載させて頂き、謝礼はありませんが、御提供者名は掲載させて頂きます。ご希望者は編集委員長または事務局までお知らせください。

平成 25 年度繊維学会支部

(平成 25 年 6 月 12 日現在)

支 部 名	支部長名	所 在 地	TEL & E-mail
東北・北海道支部	正田晋一郎	〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-11-514 東北大学大学院 工学研究科	022-795-7230 shoda@poly.che.tohoku.ac.jp
関 東 支 部	西松 豊典	〒386-8567 長野県上田市常田 3-15-1 信州大学 繊維学部	0268-21-5379 toyo@shinshu-u.ac.jp
東 海 支 部	田代 孝二	〒468-8511 名古屋市天白区久方 2-12-1 豊田工業大学大学院 工学研究科	052-809-1790 ktashiro@toyota-ti.ac.jp
北 陸 支 部	宮崎 孝司	〒910-8507 福井市文京 3-9-1 福井大学大学院 工学研究科	0776-27-9993 k-miyaza@u-fukui.ac.jp
関 西 支 部	辻井 敬亘	〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学 化学研究所	0774-38-3162 tsujii@scl.kyoto-u.ac.jp
西 部 支 部	比嘉 充	〒755-8611 山口県宇部市常盤台 2-16-1 山口大学大学院 理工学研究科	0836-85-9203 mhiga@yamaguchi-u.ac.jp

一般社団法人 繊維学会研究委員会一覧

(平成 25 年 6 月 12 日現在)

研究委員会名	研究委員長名	〒	所 在 地	電 話
繊維基礎科学研究委員会	櫻井 伸一	606-8585	京都市左京区松ヶ崎御所海道町 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科	075-724-7864
染色研究委員会	濱田 州博	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学 繊維学部	0268-21-5411
繊維加工研究委員会	増子 富美	112-8681	東京都文京区目白台 2-8-1 日本女子大学 家政学部	03-5981-3481
感覚と計測研究委員会	西松 豊典	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学 繊維学部	0268-21-5379
被服科学研究委員会	城島栄一郎	191-8510	東京都日野市大坂上 4-1-1 実践女子大学 生活科学部	042-585-8897
紙・パルプ研究委員会	江前 敏晴	305-8572	茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学 環境材料科学研究室	029-853-4646
オプティックスとエレクトロニクス有機材料研究委員会	小池 康博	223-8522	横浜市港北区日吉 3-14-1 慶應義塾大学 理工学部	045-566-1598
先端繊維素材研究委員会	村瀬 浩貴	520-0292	滋賀県大津市堅田 2-1-1 東洋紡株式会社 総合研究所	077-571-0035
研究委員会「感性研究フォーラム」	徳山 孝子	657-0015	神戸市灘区篠原伯母野山町 1-2-1 神戸松蔭女子学院大学 ファッション・ハウジングデザイン学科	078-882-8789
超臨界流体研究委員会	奥林 里子	606-8585	京都市左京区松ヶ崎御所海道町 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科	075-724-7367
ナノファイバー技術戦略研究委員会	松本 英俊	152-8552	東京都目黒区大岡山 2-12-1-S8-27 東京工業大学大学院 理工学研究科	03-5734-3640
繊維若手研究委員会	宝田 亘	152-8552	東京都目黒区大岡山 2-12-1-S8-32 東京工業大学大学院 理工学研究科	03-5734-3658